



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

東

上場会社名 株式会社CAC Holdings

上場取引所

コード番号 4725

URL <https://www.cac-holdings.com/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西森良太

問合せ先責任者(役職名) コーポレート・コミュニケーショングループ長 (氏名) 酒井伊織 (TEL) 03(6667)8010

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

2023年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (当社ホームページに掲載)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	24,052	2.7	1,550	△13.8	1,390	△13.8	1,209	34.9
2022年12月期第2四半期	23,418	△10.2	1,798	△24.9	1,613	△30.1	896	△46.7

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 1,996百万円( -%) 2022年12月期第2四半期 △1,508百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	71.05	—
2022年12月期第2四半期	53.06	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	44,558	30,416	67.6
2022年12月期	44,213	29,300	64.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 30,109百万円 2022年12月期 28,620百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年12月期	—	40.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	4.2	3,300	3.5	3,200	1.3	2,200	5.1	129.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 - 社 (社名) - 、除外 - 社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 2 Q	20,541,400株	2022年12月期	20,541,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	3,495,689株	2022年12月期	3,537,978株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 2 Q	17,018,044株	2022年12月期 2 Q	16,896,348株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については添付資料をご参照ください。
- ・四半期決算補足説明資料及び代表取締役社長による四半期決算説明動画は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11
(1) セグメント別連結受注高	11
(2) セグメント別連結受注残高	11
(3) 業種別連結売上高	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日、以下「当第2四半期」）の売上高については、国内IT事業における連結除外の影響があったものの、海外IT事業の伸長や為替の影響により、前年同期比2.7%増加の240億52百万円となりました。営業利益については、前連結会計年度より開始した中期経営計画に基づき成長基盤醸成のための投資を実施したこと等から同13.8%減少の15億50百万円となり、経常利益は同13.8%減少の13億90百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を特別利益に計上したこと等から同34.9%増加の12億9百万円となりました。

当社グループでは、変化が激しい昨今の状況下において短期的な変動に左右されず持続的な成長を目指すため、長期的なありたい姿としてCAC Vision 2030「テクノロジーとアイデアで、社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ」を掲げています。CAC Vision 2030ではCACグループにおけるAIやIoT等のデジタル技術やデータを活用したソリューションにより人ならではの多様な想像力や創造力を発揮させ、社会課題の解決につなげていくことを想定しています。そしてこのようなポジティブインパクトを与えるデジタルソリューションを定常的に生み出し成長させることで、高収益・高成長の企業グループとなることを目指していきます。

CAC Vision 2030の実現に向けた中期経営計画（2022年度～2025年度）は、国内外における既存受託事業での安定した収益の確保と、2026年度以降に向けてデジタルプロダクト&サービスを継続的に生み出す仕組みの構築を行う期間としています。今年度は、中期経営計画2年目として、成長基盤の醸成に向けて継続的に新規事業を立ち上げていくとともに、人材採用や人材育成を引き続き強化していきます。あわせて、海外子会社の構造改革やグループガバナンスの強化、組織風土改革も推進していきます。

セグメントごとの業績は次のとおりです。売上高につきましては、外部顧客への売上高を表示しています。

また、第1四半期会計期間よりセグメント利益の算出方法を変更しており、各セグメントに配分していない全社費用を調整額として表示しています。なお、前第2四半期連結累計期間の数値についても同様に変更して表示しています。

## 売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
国内IT	18,015	76.9%	17,933	74.6%	△81	△0.5%
海外IT	5,402	23.1%	6,118	25.4%	715	13.2%
合計	23,418	100.0%	24,052	100.0%	634	2.7%

## セグメント利益

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		前年同期比	
	セグメント利益	利益率	セグメント利益	利益率	金額	増減率
国内IT	1,931	10.7%	1,774	9.9%	△157	△8.1%
海外IT	549	10.2%	519	8.5%	△30	△5.5%
調整額	△682	—	△743	—	△60	—
合計	1,798	7.7%	1,550	6.4%	△248	△13.8%

<国内IT>

事業は総じて堅調に推移したものの、子会社1社を連結範囲から除外したことによる減収を埋めきれず、売上高は179億33百万円（前年同期比0.5%減）となりました。セグメント利益は成長基盤の醸成に向け、人的資本投資や新規事業開発を推進したこと等による販売管理費の増加により17億74百万円（同8.1%減）となりました。

<海外IT>

インド子会社の伸長や為替の影響等から、売上高は61億18百万円（前年同期比13.2%増）となりました。セグメント利益は、インド子会社における構造改革費用の増加やインドネシア子会社におけるエンジニア人件費の増加等により5億19百万円（同5.5%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億44百万円増加して445億58百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が11億42百万円増加、のれんが5億6百万円増加した一方、有価証券が13億円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて7億71百万円減少して141億41百万円となりました。主な変動要因は、繰延税金負債が3億2百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が4億57百万円減少、賞与引当金が4億61百万円減少、退職給付に係る負債が1億48百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11億16百万円増加して304億16百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が6億99百万円増加、その他有価証券評価差額金が2億58百万円増加、為替換算調整勘定が5億4百万円増加した一方、非支配株主持分が3億73百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期までの業績は、連結業績予想に対して概ね想定通りに進捗していると判断しています。現時点におきましては2023年2月14日に公表しました2023年12月期の通期業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,491	13,634
受取手形、売掛金及び契約資産	9,287	9,234
有価証券	1,300	-
商品	56	96
仕掛品	174	182
貯蔵品	14	6
その他	1,751	1,837
貸倒引当金	△316	△344
流動資産合計	24,758	24,647
固定資産		
有形固定資産	1,489	1,428
無形固定資産		
のれん	763	1,270
その他	1,092	927
無形固定資産合計	1,856	2,197
投資その他の資産		
投資有価証券	14,543	14,738
繰延税金資産	346	233
その他	1,221	1,316
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	16,108	16,285
固定資産合計	19,454	19,911
資産合計	44,213	44,558

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,172	2,715
短期借入金	606	932
未払法人税等	432	336
賞与引当金	851	389
関係会社事業損失引当金	20	17
資産除去債務	297	297
その他	3,818	3,682
流動負債合計	9,199	8,371
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付に係る負債	2,225	2,077
資産除去債務	227	227
繰延税金負債	875	1,178
その他	383	286
固定負債合計	5,713	5,770
負債合計	14,912	14,141
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,702	3,702
資本剰余金	3,749	3,740
利益剰余金	20,498	21,198
自己株式	△4,267	△4,215
株主資本合計	23,683	24,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,293	4,551
為替換算調整勘定	461	965
退職給付に係る調整累計額	182	167
その他の包括利益累計額合計	4,936	5,684
非支配株主持分	679	306
純資産合計	29,300	30,416
負債純資産合計	44,213	44,558

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	23,418	24,052
売上原価	17,660	18,013
売上総利益	5,757	6,038
販売費及び一般管理費	3,959	4,488
営業利益	1,798	1,550
営業外収益		
受取利息	19	54
受取配当金	37	39
為替差益	133	63
持分法による投資利益	15	22
債務勘定整理益	42	22
その他	33	39
営業外収益合計	281	241
営業外費用		
支払利息	38	33
コミットメントフィー	3	3
投資事業組合運用損	373	325
その他	51	38
営業外費用合計	466	401
経常利益	1,613	1,390
特別利益		
投資有価証券売却益	0	554
関係会社株式売却益	-	31
関係会社事業損失引当金戻入額	152	-
その他	-	25
特別利益合計	152	612
特別損失		
投資有価証券評価損	82	-
事業所改装関連費用	-	47
その他	0	-
特別損失合計	83	47
税金等調整前四半期純利益	1,682	1,955
法人税、住民税及び事業税	327	473
法人税等調整額	415	241
法人税等合計	742	714
四半期純利益	939	1,241
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	896	1,209



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	939	1,241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,037	258
為替換算調整勘定	617	512
退職給付に係る調整額	△27	△15
その他の包括利益合計	△2,447	755
四半期包括利益	△1,508	1,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,572	1,956
非支配株主に係る四半期包括利益	64	40

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,682	1,955
減価償却費	275	275
のれん償却額	130	72
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△358	△428
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△58	△1
関係会社事業損失引当金の増減額 (△は減少)	△375	△3
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△554
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△31
投資有価証券評価損益 (△は益)	82	-
売上債権の増減額 (△は増加)	227	234
棚卸資産の増減額 (△は増加)	116	△34
仕入債務の増減額 (△は減少)	150	△333
その他	△733	△326
小計	1,138	823
利息及び配当金の受取額	62	103
利息の支払額	△23	△35
法人税等の支払額	△836	△792
法人税等の還付額	14	102
営業活動によるキャッシュ・フロー	354	201
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,124	1,441
有形固定資産の取得による支出	△71	△63
無形固定資産の取得による支出	△103	△18
有価証券の純増減額 (△は増加)	△800	1,300
関係会社株式の取得による支出	-	△34
投資有価証券の売却による収入	802	832
差入保証金の増減額 (△は増加)	30	△3
事業譲受による支出	-	△548
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△394
その他	18	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,247	2,519
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5	254
リース債務の返済による支出	△69	△56
配当金の支払額	△510	△508
非支配株主への配当金の支払額	△19	△10
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式等の取得による支出	△348	△198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△943	△518
現金及び現金同等物に係る換算差額	253	282
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,582	2,484
現金及び現金同等物の期首残高	10,367	10,879
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	41
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,784	13,405

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内IT	海外IT	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,015	5,402	23,418	—	23,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	162	914	1,076	△1,076	—
計	18,177	6,317	24,494	△1,076	23,418
セグメント利益	1,931	549	2,480	△682	1,798

(注) 1. セグメント利益の調整額△682百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外IT」において、2019年10月18日に行われたMitrais Pte. Ltd.の株式取得における条件付取得対価の支払いが確定したことにより、新たにのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において348百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内IT	海外IT	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,933	6,118	24,052	—	24,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	124	709	833	△833	—
計	18,058	6,828	24,886	△833	24,052
セグメント利益	1,774	519	2,293	△743	1,550

(注) 1. セグメント利益の調整額△743百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

報告セグメントごとの経営成績をより適切に評価するため、第1四半期連結会計期間より、当社の一般管理費は各報告セグメントへの配賦を行わずに、セグメント利益の調整額に全社費用として計上する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「国内IT」において、当第2四半期連結会計期間に実施した事業譲受により、のれんが522百万円発生しております。なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) セグメント別連結受注高

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	21,121	74.3%	20,115	63.9%	△1,006	△4.8%
海外IT	7,324	25.7%	11,381	36.1%	4,057	55.4%
合計	28,446	100.0%	31,497	100.0%	3,050	10.7%

(注) 外部顧客への受注高を表示しております。

## (2) セグメント別連結受注残高

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	11,407	68.1%	11,055	54.9%	△352	△3.1%
海外IT	5,352	31.9%	9,099	45.1%	3,747	70.0%
合計	16,759	100.0%	20,155	100.0%	3,395	20.3%

(注) 外部顧客への受注残高を表示しております。

## (3) 業種別連結売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	7,398	31.6%	7,894	32.8%	495	6.7%
製薬	4,002	17.1%	4,125	17.2%	123	3.1%
製造	3,759	16.1%	3,599	15.0%	△160	△4.3%
情報・通信	3,556	15.2%	3,586	14.9%	29	0.8%
サービス業など	4,700	20.0%	4,845	20.1%	145	3.1%
合計	23,418	100.0%	24,052	100.0%	634	2.7%

(注) 外部顧客への売上高を表示しております。